

名取市産学官連携促進事業審査会会議録

1. 会議の年月日

令和8年7月24日（金） 午後3時00分から午後3時50分まで

2. 会議の場所

名取市役所 6階第3会議室

3. 出席委員

洞口委員長、赤坂委員、小松委員、佐藤委員、山家委員

4. 会議に出席した者

商工観光課 守課長、越河主幹兼商工振興・雇用促進係長、片桐主査

5. 会議の概要

(1) 開会

本日の会議について、「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開しているが、傍聴者はいない旨を報告し、開会した。

(2) あいさつ（洞口委員長）

本日は2件の応募事業について、審査を行っていただく。

例年よりも多く申請があり、市内産業の活性化や教育機関との交流、連携がより一層深まることが期待されるので、委員には活発にご審議いただきたい。

(3) 審査

（ア）審査方法等について

事務局より審査の流れ及び審査方法と審査ポイント、また、各審査項目が平均3点以上獲得することを事業採択要件とする旨が提案され、了承された。

（イ）「仙台セリ鍋フリーズドライ化計画」

（午後3時10分～午後3時20分）

事業者：有限会社まるしげ 1名

当日配布資料に基づき、申請者より今年度の計画内容について説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。

【質疑応答概要】

Q：事業計画に、2年目は鶏肉と牡蠣のレシピを試作したとあるが、今年度この2つの味の商品化に取り組んでいくのか。

A：鶏肉の方に集中して商品化に取り組んでいきたい。

Q：今年度で計画として3年目をむかえるが、今年度中に商品化に至れるのか。商品化の時期の目途は。

A：OEM先には、まだ食材や加工方法について相談していない。相談した結果難しいということになれば、商品化は厳しいと考えている。商品化の時期についてはコストを検討しながらになるが、10月までには目途がつくと考えている。

Q：商品化するとしたら、鍋としてフリーズドライをしてお湯を掛けたらすぐに食べられるイメージか。

A：そのイメージで試作しているが、実際にフリーズドライの工場に相談してみてもその形にできるかはこれから検討していく。

Q：OEM先はニチレイを想定しているとのことだが、相手先とどの程度相談等進めているか。

A：宮城大学から話はしてもらっているが、自社からはまだ相談等はしていない。

(ウ)「名取の資源を使用した常温商品開発プロジェクト(3)」

(午後3時25分～午後3時40分)

事業者：有限会社まるしげ 1名

教育機関：尚絅学院大学 2名

当日配布資料に基づき、申請者より今年度の計画内容について説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。

【質疑応答概要】

Q：せり粉末を使用してせり茶・せり塩を開発するとのことだが、今年度中に商品化販売する想定か。それ以外で考えている商品はあるか。

A：今年度中に販売する想定である。無限大の可能性を持っている商品。せりうどんやせり餃子、せりジェラートなど様々な商品が考えられるなかで、ウエルカムティーを開発するのはどうかと考え、せり茶を想定している。ペットボトルやティーパックなど、様々な形で販売できる。せりの香りや味をどう残していくか等の課題をクリアしていきながら、年度内に一定の成果をあげていきたい。

Q：昨年度取り組んだせりドレッシングの販売本数は。

A：昨日時点で約700本の売り上げ。生産が追い付いていない状況だったが、

これからは自社で生産できるよう体制を整えたため、より販売していきたい。

Q：原料の確保は問題ないのか。

A：検討が必要な部分である。春せりは香りと味が良いが、鍋にすると固くなってしまうため、需要が下がる。その春せりを使用して生産するのが良いと考えている。

Q：せり粉末を使用した商品はOEM先で加工するのか。また、せり粉末はどこで加工するのか。

A：せり茶を商品化することになれば、お茶屋さんに相談したいと考えている。また、せり粉末は自社でのみ製造できれば良いということではなく、どの企業でも簡単に製造できるような方法で今後研究していきたい。せり粉末を使用した商品を様々な企業が販売し、名取市内がせり商品で活気が出ると良いと考えている。

Q：せりをフリーズドライしてから粉末にするのか。

A：せり粉末はどの企業でも製造できることを想定している。フリーズドライをするための機械を持っている企業は限られてくるため、フリーズドライを工程に入れず、せりを乾燥して粉末にする方法で試していきたい。

（エ）審査結果の集計・発表

事務局より事業者評価表の総括表を各委員に配布し、結果内容を読み上げて、2事業者全ての項目で平均3点以上となった旨の報告を行った。

委員長より、審査結果に基づき採択することで全出席委員の了承を得た。

（4）閉会

事務局より、本日の審査結果を市長に報告した後、補助金交付の可否を決定の上、市ホームページにも結果について掲載する旨説明し、了承を得て審査会を終了した。